

春の笑顔、入学シーズン

町内の学校、各種学校で新入生が希望の第一歩を踏み出しました。56人のお友達が入学した東川小では、飯森修校長から「お友達をいっぱいつくってください」と歓迎を受けました。お兄さん、お姉さんとの対面を終え、先生から教科書や「さ



いっぱいお友だちつくるぞ (幼児センター入所式)

東川中学校入学式



東川小学校入学式

- 東川幼児センター 56人 (3〜5歳児(短時間) 38人、0〜2歳児(長時間) 18人)
- 東川小 56人
- 東川第一小 5人
- 東川第二小 3人
- 東川第三小 3人
- 東川中 89人



懇親会風景

- 東川養護学校 22人 (小学部6、中学部12、高等部2、訪問2人)
- 東川高校 80人

写真サークル「フォーラム東川塾」が懇親総会

写真愛好家グループ「フォーラム東川塾」(香川慧会長)が4月14日、農村環境改善センター、キトウシ森林公園の貸し別荘ケビンで今年の総会、懇親会を開きました。写真を通して東川の魅力をアピールし、ファン

を増やす活動を今年も町内外で行うことにしています。東川町のファンを自認する写真愛好家が集まって活動が始まり、会発足23年目。現在会員は21人で、町内のほか、札幌、旭川、美唄、豊頃など道内に住んでいる方ばかりでなく、静岡市内在住の方も。今年、恒例の写真展(町文化ギャラリー、5月23〜6月4日)のほか、移動写真展(アルテピアッツァ美唄、11月7〜19日)、東神楽町在住の写真家、後藤昌美氏を講師に招いて、ワークショップ・東川写真塾で写真講座(9月20〜22日、天人峡温泉・ホテル敷島荘)などを計画しています。ワークショップへの参加希望、入会など問い合わせは、香川さん(☎82-3010)へ。



旭岳温泉にホテル&スパ「ラビスタ大雪山」開業

4月下旬、旭岳温泉に新しいホテルがオープンしました。ホテル&スパリゾート「ラビスタ大雪山」(蝦名裕支配人)。本格的なドイツ風山岳リゾートホテルです。学生寮、ビジネスホテルなど経営の㈱共立メンテナンス(東京、石塚晴久代表取締役会長)が旧旭岳パークホテル跡地に建設しました。



おしゃれなドイツ風外観のたたずまい

「二の湯」(アイヌ語で流木の意)は、ひのき風呂の内湯と外湯に寝湯、岩風呂の構成。貸し切りプライベート風呂として岩風呂、プレング風呂、五右衛門風呂もあります。トータルビューティーに対応するエステコーナーも完備しています。



特別室

和洋室24室(ツインベッド)、トリプル23室(シングル3ベッド)の32平方メートルの客室が中心です。ほかに56平方メートルの特別室(ダブルとシングル)の2ベッドと6畳和室)、22平方メートルのシングル10室(ダブルベッド)などという部屋構成です。オープン記念として、黄金週間後6月16日の山開き前まで、通常より1万円割引で宿泊できる町民特別優待を行うということです。旭岳温泉地区の宿泊施設は、平成15年



バーベキュールーム

「桜街道をつくらう」クラフト街道で住民が植樹

開業のホテル・ベアモンテ以来、4年ぶり10軒目です。

キトウシ地区に桜並木を「キトウシを桜並木にする会」(大箭利明代表)が4月29日、エゾヤマザクラの苗木250本(3年生、樹高約2・5メートル)を植樹しました。「将来、桜見物客であふれる見事な並木道に」と夢を広げています。

上岐登牛集会場裏広場で開いた植樹祭には、約40人が集まりました。苗木は、昨年度(財)日本さくら会の会(東京、会長・

河野洋平衆議院議長)から寄贈を受けました。網走郡大空町(旧東藻琴村)で育てているので寒さに強いものです。北海道さくら会の会、北海道森と緑の会からも関係者が出席。松岡市郎町長とともにくわ入れし、立派な並木道に育つようお願いを込めました。会は、今回の寄贈を受けてクラフト街道沿いの木工家らが立ち上げ、準備してきました。今後、上岐登牛行政区(菅沼久夫区長)の住民ぐるみで桜並木を育てる活動に盛り上げたい、と夢を広げています。日本さくら会の会からは、平成5年度以来、東小、第一小、第二小、開拓百年記念の森公園に延べ約800本の苗木寄贈を受けています。



苗木を植樹した大箭会長ら